

年間授業計画様式

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 国語科 科目 国語表現 年間授業計画

教科：国語科 目：国語表現 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：清水)

使用教科書：(50大修館 国表307 国語表現 改訂版(大修館書店))

使用教材：(新訂国語図説五訂版(京都書房)、教員自作プリント)

	指導内容	科目 国語表現 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	統計資料を読み取って書く	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料の見方を学ぶ 課題資料の特徴を列挙し、内容を比較及び把握する 課題資料に示された内容について、考察する 常用漢字を正確に用い、正しい表記で整った文を書く 	【観点】 関心・意欲・態度 書く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 授業内観察	5
5月	統計資料を読み取って書く	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料の見方を学ぶ 課題資料の特徴を列挙し、内容を比較及び把握する 課題資料に示された内容について、考察する 常用漢字を正確に用い、正しい表記で整った文を書く 	【観点】 関心・意欲・態度 書く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 定期考査	8
6月	類字 同音異義語	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字や語句について、的確に理解する 	【観点】 関心・意欲・態度 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 定期考査	8
7月	類字 同音異義語	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字や語句について、的確に理解する 	【観点】 関心・意欲・態度 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察	6
8月				0

	指導内容	科目 国語表現 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	レポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> レポートの正しい書き方を理解する I C T機器を用いてレポートの作成に関する調査を行う 常用漢字を正確に使い、正しい表記で整った文を書く 	【観点】 関心・意欲・態度 書く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 授業内観察	8
10月	レポートを書く	<ul style="list-style-type: none"> レポートの正しい書き方を理解する I C T機器を用いてレポートの作成に関する調査を行う 常用漢字を正確に使い、正しい表記で整った文を書く 	【観点】 関心・意欲・態度 書く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 定期考査	10
11月	ショートスピーチをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 効果的に伝わるショートスピーチの構成を考え、スピーチメモを作成する 適切な言葉遣いを意識してスピーチメモを作成する 効果的に伝わることに留意し、ショートスピーチを発表する 	【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 授業内発表	9
12月	四字熟語 慣用句	<ul style="list-style-type: none"> 四字熟語や慣用句について、的確に理解する 	【観点】 関心・意欲・態度 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 定期考査	8
1月	自分を見つめて	<ul style="list-style-type: none"> 経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える 他者との交流の中で自分の長所や得意なことを見つける 	【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 授業内発表	7
2月	自分を見つめて	<ul style="list-style-type: none"> 経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える 他者との交流の中で自分の長所や得意なことを見つける 	【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 授業内発表	6
3月	四字熟語 慣用句	<ul style="list-style-type: none"> 四字熟語や慣用句について、的確に理解する 	【観点】 関心・意欲・態度 知識・理解 【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 定期考査	3

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科地歴科目世界史A 年間授業計画

教科：地歴科 目：世界史A 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：石塚 幸雄)

使用教科書：(2東書 世A310 世界史A 東京書籍)

使用教材：(特に無し)

	指導内容	科目世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション:歴史区分と地域区分を差確認する	教科書の年表と地図をみながら世界の諸地域の名称と歴史区分の方法を作業プリントに記入させる	方法:作業プリント	2
	人類の起源を学習する	人類の誕生を映像資料で解説し、作業プリントとでまとめる	方法:作業プリント	3
5月	古代中国を中心とする東アジア世界の歴史と文化について学習する	漢字文化、儒教、中国を中心とする国際体制などを資料を使い解説する	日本における中国の影響について理解している	3
	古代インドを中印とする南アジア世界の歴史と文化について学習する	さまざまな宗教や言語などについて作業プリントでまとめる	仏教やカースト制度などを理解している	2
	中間考査:学習内容の定着度や理解度を測定する	テスト実施後の答案返却で誤答を訂正させて、学習事項の復習とする	1学期前半の歴史の流れを理解し記憶している	2
6月	古代オリエントの歴史と文明について学習する	イラン文明、イスラーム世界を映像資料などを活用し理解を深めさせる	西アジア世界が、イスラムの信仰によって規定されていることを理解している	3
	イスラム教について学習する	独自の規範や教義を持つイスラム教についてムハンマドの人物像とともに理解させる		3
	古代地中海世界について学習する	古代ギリシア世界について、写真資料などを使い説明する	古代ギリシアの文明がヨーロッパ世界に影響を与えていることを理解している	2
7月	期末考査:学習内容の定着度や理解度を測定する	テスト実施後の答案返却で誤答を訂正させて、学習事項の復習とする	1学期間の歴史の流れを理解し記憶している	4
8月				
9月	古代地中海世界について学習する	古代ローマ世界について、映像資料などを使い説明する	古代ローマ文明がヨーロッパ世界に影響を与えていることを理解している	4
	16世紀のヨーロッパ世界について学習する	ルネサンスや宗教改革、大航海時代などの動きを整理し、ヨーロッパの海外進出との関連性について考察させる	歴史的な動きが近代社会の契機となったことを理解している	5
10月	ヨーロッパ主権国家の成立と海外進出を学習する	絶対王政と議会王政の特色、世界商業の進展と大西洋貿易の動向について理解させる	大西洋三角貿易の歴史的意義を理解している	5
	近代市民革命について学習する	近代市民革命の成立と民主社会に与えた影響を理解させる	絶対王政からの歴史的経過を踏まえた理解をしている	4
	中間考査:学習内容の定着度や理解度を測定する	テスト実施後の答案返却で誤答を訂正させて、学習事項の復習とする	2学期前半の歴史の流れを理解し記憶している	2
11月	産業革命について学習する	イギリスで産業革命がおきた要因について考察させる。また、産業革命の結果、資本主義が確立して資本家が成長するとともに、社会問題や労働問題が発生したことについて考えさせる	社会主義について現代社会で学んだことと結び付けて理解している	5
	”	綿や機織り機など実物教材を使用させて、蒸気機関と綿工業の関連を体感させる	方法:機織り作業課題	6

	指導内容	科目世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	期末考査:学習内容の定着度や理解度を測定する	テスト実施前の借整理・後の答案返却時で誤答を訂正させて、学習事項の復習とする	2学期後半の歴史の流れを理解し記憶している	5
1 月	2つの世界大戦について学習する	映像資料を活用して、戦争前後の国際政治や社会体制などを説明する	ベルサイユ体制やファシズムなどの言葉の意味を理解している	8
2 月	戦後世界の体制について学習する	戦後の東西対立と冷戦後のボールドレスな国際関係を作業プリントで整理させる	今日的世界情勢との関係を理解している	4
	”	多極化や冷戦、緊張緩和、ベルリンの壁崩壊など映像資料を使い解説する	方法:作業プリント	3
3 月	学年末考査:学習内容の定着度や理解度を測定する	テスト実施前の借整理・後の答案返却時で誤答を訂正させて、学習事項の復習とする	3学期の歴史の流れを理解し記憶している	3

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科：数学 科目：数学A 年間授業計画

教科：数学 科目：数学A 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：山本宗一)

使用教科書：(7実教数A323 実教出版 新訂版 高校数学A)

使用教材：(教科書, 教員自作プリント)

	指導内容	科目数学Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1. 集合と要素	<ul style="list-style-type: none"> 集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解するとともに, 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し, それらの総数を求められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 集合やその要素の個数について関心をもち, 進んで学ぼうとする。 具体的な事象の考察に, 順列や組合せの考えを利用しようとする。(授業態度) 集合の要素の個数の関係を用いて, 具体的な事象を考えることができる。 樹形図や積の法則を基にして, 順列の総数を導く過程を考えることができる。 組合せの総数を順列の総数と関連させて考えることができる。(発問評価) 集合の要素に関する関係式を用いて, 補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。 和の法則や積の法則を用いて場合の数を求めることができる。 順列・円順列・重複順列の総数や, 組合せの総数を求めることができる。(課題提出・定期考査) 集合の要素について理解している。 和の法則・積の法則を理解している。 順列と組合せの考え方について, それぞれ理解している。(定期考査) 	5
5月	2. 集合の要素の個数			7
6月	2. 集合の要素の個数 3. 和の法則と積の法則 4. 順列			9
7月	5. 組合せ <チャレンジ> 最短経路の道順			7
8月				

	指導内容	科目数学Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	2節 確率 1. 事象と確率 (1) 2. 事象と確率 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いているいろいろな事象の確率を求められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 確率について関心を持ち、進んで学ぼうとする。 具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとする。(授業態度) 試行や事象の考えを用いて、確率の基本的な法則について考えることができる。 順列、組合せおよび集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を調べることができる。 2つの試行が独立かどうかを考えることができる。 条件つき確率を考えることができる。(発問評価) 確率の基本的な法則を用いて、事象の確率を求めることができる。 排反事象の確率を求めることができる。 余事象を利用して確率を求めることができる。 独立な試行の確率、反復試行の確率を求めることができる。 条件つき確率を求めることができる。(課題提出・定期考査) 確率の基本的な法則を理解し、基本的な知識が身に付いている。 独立な試行や反復試行の意味を理解している。 条件つき確率の意味を理解している。(定期考査) 	8
	3. 独立な試行と確率 4. 反復試行の確率 5. 条件つき確率			
1 0 月				8
1 1 月	3章 図形の性質 2節 三角形の性質 1. 三角形の角	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の角の二等分線と線分の比の関係や、三角形の外心、内心、重心について理解し、それらの性質を用いて線分の長さや角の大きさを求められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の性質に関心を持ち、進んでその性質を調べようとする。 三角形の外心、内心、重心に関心を持ち、進んでその性質を調べようとする。(授業態度) 角の二等分線と線分の比の式を導く過程を考えることができる。 三角形の外心、内心、重心などの性質を考えることができる。(発問評価) 角の二等分線と辺の比の関係を用いて、線分の長さを求めることができる。 三角形の外心、内心、重心を作図することができる。 三角形の外心、内心、重心の性質を用いて、線分の長さや角の大きさを求めることができる。(課題提出・定期考査) 内角、外角の二等分線と辺の比の関係を理解している。 三角形の外心、内心、重心の性質を理解している。(定期考査) 	8
	2. 三角形と線分の比 3. 三角形の外心・内心・重心			
1 2 月				7

	指導内容	科目数学Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	3節 円の性質 1. 円周角	<ul style="list-style-type: none"> 円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦のなす角の性質について理解し、それらを図形の性質の考察に活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 円の性質に関心をもち、進んでその性質を調べようとする。(授業態度) 円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について、その性質を考えることができる。 円の接線と接点を通る弦とのなす角について、その性質を考えることができる。(発問評価) 円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件を用いて、図形の性質を論理的に処理することができる。 円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。(課題提出・定期考査) 円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について理解している。 円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質について理解している。(定期考査) 	7
2 月	2. 円と四角形 3. 円と接線			6
3 月	3. 円と接線 (続き)			6

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 理科 生物基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：外山 秋沙・喜多村 信代)

使用教科書：(183第一 生基319 第一学習社 高等学校改訂 新生物基礎)

使用教材：(ワークシート)

	指導内容	科目生物基礎の具体的な指導目標	○評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1章 生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・生物の進化 ・細胞のつくり ・【実験】細胞の観察 1学期中間考査	・生物の特徴について、生物の共通性と多様性を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 ・生物の共通性と多様性について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 ・生物の共通性と多様性に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	○生物の特徴について、生物の共通性と多様性を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・考査、ワークシートの記述内容	8
			○生物の共通性と多様性について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 ・考査、ワークシートの記述内容、授業での発表内容	6
5月	第1章 生物の特徴 ・代謝(呼吸、光合成) ・エネルギーの流れ ・酵素の性質 ・【実験】カタラーゼのはたらき 1学期期末考査	・生物の特徴について、生物とエネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 ・生物とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 ・生物とエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	○生物の特徴について、生物とエネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・考査、ワークシートの記述内容	3
			○生物とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 ・考査、ワークシートの記述内容、授業での発表内容	10
6月			○生物とエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 ・授業での発言内容、授業態度、ワークシートの記述内容	3
7月				0
9月	第3章 体内環境と恒常性 ・体内環境と恒常性 ・血液の成分と凝固系 ・【実験】血液凝固に必要な要素 2学期中間考査	・ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節を理解しているとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 ・神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現すること。 ・神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	○ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節を理解しているとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けている。 ・考査、ワークシートの記述内容	10
			○神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現している。 ・考査、ワークシートの記述内容、授業での発表内容	6
			○神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 ・授業での発言内容、授業態度、ワークシートの記述内容	

	指導内容	科目生物基礎の具体的な指導目標	○評価の観点・方法	担当 時数
1 0 月	第3章 体内環境と恒常性 ・体液濃度の調節 （腎臓と肝臓の役割） ・体内での情報伝達 ・神経系による情報の伝達と調節 ・内分泌系による情報の伝達と調節 ・体内環境の維持 ・【実験】運動によるからだの状態の変化 2学期期末考査	・ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節を理解しているとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 ・神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現すること。 ・神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	○ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節を理解しているとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けている。 ・考査、ワークシートの記述内容 ○神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現している。 ・考査、ワークシートの記述内容、授業での発表内容	2
1 1 月			○神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 ・授業での発言内容、授業態度、ワークシートの記述内容	8
1 2 月				3
1 月	第3章 体内環境と恒常性 ・感覚器の構造と役割 ・【実験】豚眼球の解剖	・ヒトの生命現象について理解しているとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 ・ヒトの生命現象について、観察、実験などを通して探究し、ヒトの生命現象の特徴を見いだして表現すること。 ・ヒトの生命現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	○ヒトの生命現象について理解しているとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けている。 ・考査、ワークシートの記述内容 ○ヒトの生命現象について、観察、実験などを通して探究し、ヒトの生命現象の特徴を見いだして表現している。 ・考査、ワークシートの記述内容、授業での発表内容	8
2 月			○ヒトの生命現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 ・授業での発言内容、授業態度、ワークシートの記述内容	8
3 月				3

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科 目：体育 単位数：1単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：佐藤、井上)

使用教科書：(教科書「最新高等保健体育改訂版」(50 大修館 保体305))

使用教材：(教科書)

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	体育についての目標、評価基準、評価方法について理解できる。	観察・レポート	1
	体づくり運動	ストレッチ、体幹、軽いジョギングを行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づく。	観察	1
	体カテスト	定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・記録	1
5月	体カテスト	定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・記録	1
	体カテスト	定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	1
	バレーボール	バレーボールの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。 試しのゲームとして正規ルールで行ない基礎・基本の動きを学ぶ。	観察	1
	バレーボール	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。 コートの中にある場所に返球する技術を身に付ける。	観察・レポート	1
6月	バレーボール	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。 ラリー中に空いた場所をカバーして守備のバランスをとる。	観察	1
	バレーボール	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。 レシーブのボールコントロールを高めてトスにつなぐ。	観察	1
	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 相手コートの中にある場所にアタックをうつ。	観察	1
	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察	1
	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察・レポート	1
7月	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 相手コートの中にある場所にアタックをうつ。	観察	1
	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察	1
	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察・レポート	1
8月				

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	バスケットボール	バスケットボールの特性・ルールを理解する。また、自己や他者の安全や事故防止について学ぶ態度を身に着ける。	観察	1
		パス、ドリブルなど安定してボール操作ができるようにする。動きながら2人1組のパス交換で味方が取りやすい場所にパスができるようにする。	観察	1
		正しいシュートフォームを身に付ける。ゴール下付近のシュート方法を学び、板枠内にボールコントロールしてシュートを打つことができるようにする。	観察	1
		ボールを持ったときの動きとボールを持たない動きを理解する。オフザボールを使ってスペースを作る技術を身に着ける。	観察	1
10月		マンツーマンディフェンスの動きを理解する。ボールの動きに合わせて自分のマークする相手とボールの両方が見える構えを維持する動きを身に着ける。	観察	1
		仲間と作戦を立て、5対5の試合をオールコートで行う。得点を入れる戦略を考えながら仲間と連携を図る。	観察・レポート	1
	バドミントン	バドミントンの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。試しのゲームとして正規ルールで行ない基礎・基本の動きを学ぶ。	観察	1
		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。簡易ゲームを通してゲーム時の戦術及び動きを学ぶ。	観察	1
11月		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。空いた場所をつくらないようにフォーメーションで守ることを理解する。	観察	1
		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。ネットよりも下の位置にあるシャトルを打ち返すストロークを身に着ける。	観察	1
		相手エンド(コートの相手側エリア)の空いているところをねらう動きを学ぶ。	観察	1
		パートナーと連携し、コースや球種を使い分けるストロークとその予測によって攻防を展開する。	観察	1
12月		相手の攻撃を防ぐストロークとネット近くのシャトルを押し込むストロークを身に着ける。	観察	1
		相手や状況に応じた技能を高めながらシングルスとダブルスをリーグ戦をで行う。	観察・レポート	1
1月	サッカー	サッカーの特性・ルールを理解する。また、自己や他者の安全や事故防止について学ぶ態度を身に着ける。	観察	1
		パス、ドリブルなど安定してボール操作ができるようにする。動きながら2人1組のパス交換で味方が取りやすい場所にパスができるようにする。	観察	1
		ボールを持ったときの動きとボールを持たない動きを理解する。オフザボールを使ってスペースを作る技術を身に着ける。	観察	1
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。戦略を考えながら仲間と連携を図る。	観察・レポート	1
	体づくり運動 (縄跳び、シャトルラン等)	運動を継続する意義、体の構造について理解する。	観察	1
		運動不足の解消や体調維持のために食事や睡眠などの生活習慣の改善も含めバラ	観察	1

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
2 月		ンスのよい組み合わせで運動の計画を立てられるようにする。		1
		定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	
		定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	1
3 月		定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・レポート	2

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 英語 科目 コ英語 I 年間授業計画

教科：英語 科目：コ英語 I 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：佐々木友子, 清水三重子 Geoffrey Brown)

使用教科書：(三省堂 コI335 VISTA English Communication I

使用教材：(教科書及び自作プリント)

	指導内容	コミュニケーション英語 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	①オリエンテーション ②AETの先生の自己紹介 ③英語のアルファベットとつづり字の関係 Phonix ④主語と動詞の見分け方	春休み、何をしていたかを聞き取る。自分が何をしたかを英語で表現する。 英単語の読み方には法則性があることを理解する。 まず、be動詞、一般動詞、助動詞の見分け方について理解する。主語は動詞の前までということを理解する。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物	5
5月	Lesson 8 Motala and Landmines part① Lesson 8 Motala and Landmines part① Lesson 8 Motala and Landmines part② 中間試験 答案返却	人間の埋めた地雷でけがしたゾウ、モタラについての簡単な英文を理解する。現在完了形の継続用法について理解する。(現在形との比較) 英文を正しく読めるようになる。現在完了形の継続用法を引き続き、過去形との比較で理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 英文を正しく読めるようになる。長い主語を探せるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。受け身の複雑な形を理解する。 試験で間違えたところを復習し、自分のウィークポイントを知り、次の試験に活かす。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、プリントなどの提出物 定期試験、ファイル提出	7
6月	Lesson8 Motala and Landmines part② Lesson8 Motala and Landmines part③ Lesson8 Motala and Landmines part③ まとめプリント 中間試験対策、ファイルチェック	英文を正しく読めるようになる。長い主語を探せるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。受け身の複雑な形を理解する。 英文を正しく読めるようになる。長い主語を探せるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。受け身の複雑な形を理解する。 英文を正しく読めるようになる。長い主語を探せるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。主語の長い複雑な文章の構造を理解する。 試験と類似の問題を解き、実践的な対策をする。プリントを整理し、ファイルを管理する。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、プリントなどの提出物	9
7月	期末試験 答案返却 補習	試験で間違えたところを復習し、自分のウィークポイントを知り、次の試験に活かす 成績不良者への補習 基礎的なことを繰り返し行う。	定期試験、ファイル提出	7

	指導内容	コミュニケーション英語 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	夏休みの宿題	1学期に学んだ単語、文法のプリントを配布し、1学期の復習を行う。		
8 月				0
9 月	2学期 授業開き Lesson 9 Dick Bruna introduction Lesson 9 Dick Bruna part① Lesson 9 Dick Bruna part②	夏休み 何をしたか 英語でリスニングし、自分が何をしたかを、簡単な英語で表現できるようになる。 DickBrunna の人生について簡単な英文で聞き取り理解する。Dick Brunaが影響を受けた画家の絵を見て、背景を理解する 関係代名詞whoを理解する。何をどこまで修飾するか記号を付けて理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 受け身の複雑な形を理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。		8

	指導内容	コミュニケーション英語 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 0 月	Lesson9 Dick Bruna part② 中間試験前の復習 中間試験 答案返却 Lesson9 Dick Bruna part③ 練習問題	関係代名詞whichを理解する。何をどこまで修飾するか記号を付けて理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 試験対策のプリントを良く見て、理解しテスト勉強をし、7割以上の得点を目指す。 関係代名詞の省略を理解する。どんな時に省略するか例文を読み、体感する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 Lesson9 語句の発音、アクセント、同意語、指示語等の練習問題を解き、復習する。		8
1 1 月	Dick Brunaの絵本を翻訳 期末試験前の復習	新出単語、語句、注意すべき文法事項のプリントを見ながら、各自絵本を翻訳する。単語のコアの意味が読み取れていれば、自由な感性で日本語に訳して良い。 ペアになって、正しい発音で気持ちを込めて絵本の読み聞かせをする。他の生徒の日本語訳で、良いものをプリントにして紹介し、様々な訳し方が出来ることを理解する。 Lesson9 の新出単語、文法、英問英答の復習。Dick Bruna の絵本の単語、重要構文についての解説。		8
1 2 月	期末試験 クリスマス、新年のあいさつ Greeting card の書き方 補習 課題	クリスマス、新年のあいさつを学び、カードが書けるようになる。あいさつとして正しい発音で言えるようになる。 成績不良者への補習 基礎的なことを繰り返し行う。 冬休みの宿題 2学期の新出単語、文法事項の復習		7
1 月	Lesson10 Tsuji, the Great Pianist Introduction Lesson10 Tsuji, the Great Pianist part1 Lesson10 Tsuji, the Great Pianist part1 Lesson10 Tsuji, the Great Pianist part2	辻伸行さんについて、動画を見ながら、辻井さんの母の書いた手記を読み、どんな過程を経てピアニストになったのかを知る。 関係副詞where 先行詞、修飾語は何か理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。英文を正しく読む。 現在完了形の完了について理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。英文を正しく読む。 複雑な構文の読み方について理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。英文を正しく読む。		7
2 月	Lesson10 Tsuji, the Great Pianist part2 Lesson10 Tsuji, the Great Pianist part3 Lesson10 Tsuji, the Great Pianist part3 練習問題	接続詞whenについて理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 関係代名詞thatの使い方について理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 It is ~for~toの構文を理解する。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。 Lesson10 語句の発音、アクセント、同意語、指示語等の練習問題を解き、復習する。		6

指導内容	コミュニケーション英語 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
学年末試験対策	試験と類似の問題を解き、実践的な対策をする。プリントを整理し、ファイルを管理する。		
3 月 学年末試験 答案返却 補習 春休みの宿題	試験で間違えたところを復習し、自分のウィークポイントを知り、次の試験に活かす 成績不良者への補習 基礎的なことを繰り返し行う 春休みの宿題 3学期の新出単語、文法事項の復習		6

農産高等学校令和5年度 教科：農業 科目：総合実習 年間授業計画

教科：農業 科目：総合実習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：家田 常盤 相川

使用教科書：（7実教 実教出版 農業311 野菜）

使用教材：（定時制農場の圃場）

	指導内容	科目総合実習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	キュウリ、トマト、ナス、エダマメ、スイカ等の栽培 野菜の播種、一般管理、病害虫防除、収穫、観察	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	8
5月	キュウリ、トマト、ナス、エダマメ、スイカ等の栽培 野菜の播種、一般管理、病害虫防除、収穫、観察	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	9
6月	キュウリ、トマト、ナス、エダマメ、スイカ等の栽培 野菜の播種、一般管理、病害虫防除、収穫、観察	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	9
7月				0
8月				0
9月	ハクサイ、ダイコン、キャベツ、チンゲンサイ、コマツナ等の栽培 播種、定植、マルチング、病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	8
10月	ハクサイ、ダイコン、キャベツ、チンゲンサイ、コマツナ等の栽培 播種、定植、マルチング、病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	12

	指導内容	科目総合実習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	ハクサイ、ダイコン、キャベツ、チンゲンサイ、コマツナ等の栽培 一般管理、収穫	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	12
1 2 月				0
1 月	コマツナの管理 ・冬野菜の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	12
2 月	農場整備 春・夏作物の播種など	<ul style="list-style-type: none"> 野菜・草花の栽培に必要な知識技術を習得させ、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 野菜の有機無農薬栽培を行うことにより、環境(土や健康な食、自然など)への認識を深める 実習においては安全第一を心掛けて事故のないように留意する。 系統立てた習得ができる指導を心掛ける。 すべての野菜を有機無農薬栽培で行ない、自然とその大切さへの認識を深める 	<ul style="list-style-type: none"> レポートの内容や実習の中で技能や知識の確認 実習の中で自ら考え行動できるか担当教員が実習中の態度で評価する 教員の指示をよく聞き安全に行動できるか担当教員が評価する 	8
3 月				

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科農業 科目野菜 年間授業計画

教科：農業 科目：野菜 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：星野 相川 常盤)

使用教科書：(7実教 実教出版 農業311 野菜)

使用教材：(授業プリント)

	指導内容	科目野菜の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	野菜の授業ガイダンス 果実を利用する野菜 トマト	教科、野菜について、持ち物 日本農業技術検定受験に向けた準備 畑の準備、耕運 畑の準備、マルチシート、支柱	関心・意欲・態度 トマトの特性を理解しようとしたか。 トマトの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。 思考・判断 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということを、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。 知識・理解 生育に適する温度・光・水分などの環境条件や着花習性などを理解し、栽培管理のポイントについて体験を通して理解できたか。	8
5月	果実を利用する野菜 トマト 日本農業技術検定について	トマトの定植と観察 トマトのわき目摘み、誘引、病害虫の防除、中耕、除草 日本農業技術検定受験に向けた準備	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 技能 畑に定植する準備をすることができたか。トマトの着花習性を観察し、それを定植に活かすことができたか。	9
6月	果実を利用する野菜 トマト 日本農業技術検定について	トマトのわき目摘み、誘引、病害虫の防除、中耕、除草 日本農業技術検定受験に向けた準備	技能 定植、誘引、着果促進、適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。 知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 思考・判断・表現 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということを、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。 作型が現在のように分化してきた理由を考えることができたか。	12
7月	考査 果実を利用する野菜 トマト	考査と答案返却 トマトの誘引、収穫、病害虫の防除、除草	技能 適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。	5
8月				0
9月	葉や花茎を利用する野菜の栽培について、ハクサイの栽培管理について 日本農業技術検定について	日本農業技術検定受験に向けた準備 ハクサイの播種、育苗、畑の施肥、耕運などの準備	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 関心・意欲・態度 ハクサイの特性を理解しようとしたか。 ハクサイの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。 思考・判断 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということを、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。	10

	指導内容	科目野菜の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	日本農業技術検定について 葉や花茎を利用する野菜の栽培について、ハクサイの栽培管理と、栽培上の特性について	日本農業技術検定受験に向けた準備 ハクサイ苗の定植と害虫防除	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 関心・意欲・態度 ハクサイの特性を理解しようとしたか。 ハクサイの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。 思考・判断 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。	9
11月	日本農業技術検定について 葉や花茎を利用する野菜の栽培について、ハクサイの栽培管理と経営上の特性について	日本農業技術検定受験に向けた準備 ハクサイの害虫防除と葉数増加の観察	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 関心・意欲・態度 ハクサイの特性を理解しようとしたか。 ハクサイの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。 思考・判断 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。	6
12月	考查	考查と答案返却	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。	3
1月	日本農業技術検定について 葉や花茎を利用する野菜の栽培について、キャベツの栽培管理について	日本農業技術検定受験後のまとめ ハクサイ、キャベツの収穫と防寒	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 関心・意欲・態度 ハクサイの特性を理解しようとしたか。 ハクサイの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。 思考・判断 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。	8
2月	日本農業技術検定について 葉や花茎を利用する野菜の栽培について、キャベツの栽培管理と栽培上の特性について	日本農業技術検定受験後のまとめと、上級問題対策 ハクサイ、キャベツの収穫と防寒キャベツの収穫と畑の片付け、天地返し	知識・理解 農業技術検定の試験対策問題解説を理解できたか。 関心・意欲・態度 ハクサイの特性を理解しようとしたか。 ハクサイの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。 実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。 思考・判断 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。	6
3月	考查	考查と答案返却	知識・理解 野菜栽培の試験対策問題解説を理解できたか。	2

農産高等学校令和5年度 教科：農業 科目：草花 年間授業計画

教科：農業 科目：草花 単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：家田 常盤 菊池

使用教科書：（7実教 実教出版 農業304 草花）

使用教材：（定時制農場で栽培している草花や農業資材など）

	指導内容	科目草花の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<p>草花の多面的利用 草花園芸の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り花 ・鉢物 ・花壇よう草花の利用 ・植物学的分類 <ul style="list-style-type: none"> ・1、2年草 ・宿根草 ・球根について 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	8
5月	<p>草花の多面的利用 草花園芸の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花木 ・鑑草植物、ラン植物 ・サボテンと多肉植物 ・水生植物と食虫植物 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	10
6月	<p>草花園芸の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	10
7月				0
8月				0
9月	<p>草花の生育と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胚発性と種子形成 ・休眠と発芽・生長と老化・環境耐性 ・根の形態と根系の発達 ・養水水分の吸収 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	11
10月	<p>草花の生育と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胚発性と種子形成 ・休眠と発芽・生長と老化・環境耐性 ・根の形態と根系の発達 ・養水水分の吸収 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	10

	指導内容	科目草花の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	<p>草花の生育と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茎頂分裂組織 ・ 茎葉の形態とシュートの発達 ・ 光合成と物質の転流 ・ 草姿の調節 ・ 花芽形成と植物ホルモン ・ 品種の遺伝的特性と作型 ・ 促成栽培と抑制栽培 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・ 草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題・提出物等の内容 ・ 提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・ 実習の中で知識・技能の確認する ・ 授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・ 実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・ 教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	12
1 2 月				0
1 月	<p>1年間のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄せ植え作り ・ 1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・ 草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題・提出物等の内容 ・ 提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・ 実習の中で知識・技能の確認する ・ 授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・ 実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・ 教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	12
2 月	<p>1年間のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄せ植え作り ・ 1年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・ 草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題・提出物等の内容 ・ 提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・ 実習の中で知識・技能の確認する ・ 授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・ 実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・ 教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する 	5
3 月				0

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科農業科目食品製造 年間授業計画

教科：農業科 目：食品製造 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：浦崎 美有 ㊦ 大野 由賀理 ㊦ 鈴木 智美 ㊦)

使用教科書：(7実教 実教出版 農業305 食品製造)

使用教材：(実習プリント)

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	実習の注意点、実習室の使用方法、衛生チェックの流れ、成績の付け方を説明する。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	マーマレードの製造① 柑橘の種類 ジャム類	マーマレードの製造原理を理解させる。 ジャム類の復習と柑橘の種類について理解させる。		2
	マーマレードの製造② 柑橘の種類 ジャム類	マーマレードの製造原理を理解させる。 ジャム類の復習と柑橘の種類について理解させる。		2
	マーマレードの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
5月	水ようかんの製造① あんの種類 凝固剤の種類	水ようかんの製造原理を理解させる。 あんこの種類と寒天について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	水ようかんの製造② あんの種類 凝固剤の種類	水ようかんの製造原理を理解させる。 あんこの種類と寒天について理解させる。		2
	水ようかんの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	黒糖まんじゅうの製造① 膨張剤の種類 和菓子	まんじゅうの製造原理を理解させる。 膨張剤の種類と特徴について理解させる。		2
	黒糖まんじゅうの製造② 膨張剤の種類 和菓子	まんじゅうの製造原理を理解させる。 膨張剤の種類と特徴について理解させる。		2
6月	黒糖まんじゅうの製造まとめ	実習のまとめを行う。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	だんごの製造① 米の加工 米粉の種類	だんごの製造原理を理解させる。 米を用いた加工品と米粉の種類について理解させる。		2
	だんごの製造② 米の加工 米粉の種類	だんごの製造原理を理解させる。 米を用いた加工品と米粉の種類について理解させる。		2
	だんごの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	考查前座学	考查に向けて対策講義を行う。		2
7月	期末考查	1学期に身につけた知識の確認を行う。	考查の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
8月				0

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	スイートポテトの製造① いもの種類と加工	スイートポテトの製造原理を理解させる。 いもの加工品について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実 習着の準備、レポートの中身 や提出状況などを総合的に評 価する	2
	スイートポテトの製造① いもの種類と加工	スイートポテトの製造原理を理解させる。 いもの加工品について理解させる。		2
	スイートポテトの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	こんにゃくの製造① コンニャクイモの利用	こんにゃくの製造原理を理解させる。 多糖類による凝固について理解させる。		2
	こんにゃくの製造② コンニャクイモの利用	こんにゃくの製造原理を理解させる。 多糖類による凝固について理解させる。		2

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	こんにゃくの製造まとめ	実習のまとめを行う。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	リンゴジャムの製造① ペクチンと酸	リンゴジャムの製造原理を理解させる。 リンゴの種類と含有成分について理解させる。		2
	リンゴジャムの製造② ペクチンと酸	リンゴジャムの製造原理を理解させる。 リンゴの種類と含有成分について理解させる。		2
	リンゴジャムの製造まとめ	実習のまとめを行う		2
11月	漬物の製造① 野菜の加工	漬物の製造原理を理解させる。 野菜の加工品と全国の漬物について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	漬物の製造② 野菜の加工	漬物の製造原理を理解させる。 野菜の加工品と全国の漬物について理解させる。		2
	漬物の製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	考査前座学	考査に向けて対策講義を行う。		2
12月	期末考査	2学期に身につけた知識を確認する。	考査の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
1月	豆類の加工	豆類の加工について理解する。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	豆腐の製造① 大豆の加工	豆腐の製造原理を理解させる。 大豆の加工品について理解させる。		2
	豆腐の製造② 大豆の加工	豆腐の製造原理を理解させる。 大豆の加工品について理解させる。		2
	豆腐の製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
2月	味噌の製造① 味噌の種類	味噌の製造原理について理解させる。 全国の味噌と麹について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	味噌の製造② 味噌の種類	味噌の製造原理について理解させる。 全国の味噌と麹について理解させる。		2
	味噌の製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	考査前座学	考査に向けて対策講義を行う。		2
3	学年末考査	1年間に身につけた知識を確認する。	考査の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。	1
	学年末考査	1年間に身につけた知識を確認する。		1

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
月	答案返却	答案の返却を行う。	ら。	2

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科農業科目三修課題研究 年間授業計画

教科：農業 科目：課題研究 単位数：3単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：星野雅義)

使用教科書：(実教出版 野菜 草花 食品製造, 7実教 実教出版 農業304 草花, 7実教 実教出版 農業311 野菜)

使用教材：(授業プリント)

	指導内容	科目 課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	各個人ごとに、課題設定、研究計画を立てさせる。 1学期の授業ごとの計画を立てさせる。	年間を見通した課題を設定し、研究期間が適切になるように指導する。 1学期を見通した研究内容になるように指導する。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	13
5 月	1学期の授業ごとの計画を立てたものを評価し、実際の研究の実習に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	15
6 月	1学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	16
7 月				0
8 月				0

	指導内容	科目 課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>2学期の授業ごとの計画を立てさせる。</p> <p>2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組ませる。</p>	<p>計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。</p>	<p>関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。</p> <p>思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。</p> <p>技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。</p> <p>知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。</p>	15

	指導内容	科目 課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組みさせる。 発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。 課題研究発表会に向けた、スケジュールを意識させ、課題研究の要旨集を作り始める。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	15
11月	2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組みさせる。 発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。 課題研究発表会に向けた、スケジュールを意識させ、課題研究の要旨集を作り始める。 要旨集を完成させた生徒から、発表会用のパワーポイントのファイルを作り始める。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	12
12月	2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組みさせる。 発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。 要旨集を完成させた生徒から、発表会用のパワーポイントのファイルを作り始める。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	3
1月	発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。 発表会用の、発表原稿を作り、発表会に向けた準備を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。 思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。 技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。 知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	13

	指導内容	科目 課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	1年間の、課題研究のまとめを作成させる。	1年間の反省、感想、後輩に向けたアドバイスを作文する。	<p>関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。</p> <p>思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。</p> <p>技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。</p> <p>知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。</p>	15
3 月				0

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 保健体育 科目 三修体育 年間授業計画

教科：保健体育 科 目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年三修制

教科担当者：(N組：佐藤)

使用教科書：(「最新高等保健体育」(50 大修館 保体305))

使用教材：(教科書)

	指導内容	科目三修体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	体育についての目標、評価規準、評価方法について理解できる。	観察・レポート	2
	体づくり運動	ストレッチ、体幹、軽いジョギングを行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づく。	観察	4
5月	体づくり運動	ストレッチ、体幹、軽いジョギングを行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づく。	観察・レポート	8
6月	バレーボール	バレーボールの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。試しのゲームとして正規ルールで行ない基礎・基本の動きを学ぶ。	観察	2
		アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。コートの中にある場所に返球する技術を身に付ける。	観察	2
		アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。ラリー中に空いた場所をカバーして守備のバランスをとる。	観察	2
		アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。レシーブのボールコントロールを高めてトスにつなぐ。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。相手コートの中にある場所にアタックをうつ。	観察・レポート	2
7月		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。相手コートの中にある場所にアタックをうつ。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察・レポート	2
8月		体力作り課題	観察・レポート	2
9月	バスケットボール	バスケットボールの特性・ルールを理解する。また、自己や他者の安全や事故防止について学ぶ態度を身に付ける。	観察	2
		パス、ドリブルなど安定してボール操作ができるようにする。動きながら2人1組のパス交換で味方が取りやすい場所にパスができるようにする。	観察	2
		正しいシュートフォームを身に付ける。ゴール下付近のシュート方法を学び、板枠内にボールコントロールしてシュートを打つことができるようにする。	観察	2
		ボールを持ったときの動きとボールを持たない動きを理解する。オフザボールを使ってスペースを作る技術を身に付ける。	観察	2

	指導内容	科目三修体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月		マンツーマンディフェンスの動きを理解する。ボールの動きに合わせて自分のマークする相手とボールの両方が見える構えを維持する動きを身に着ける。	観察	2
		仲間と作戦を立て、5対5の試合をオールコートで行う。得点を入れる戦略を考えながら仲間と連携を図る。	観察・レポート	2
	バドミントン	バドミントンの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。試しのゲームとして正規ルールで行ない基礎・基本の動きを学ぶ。	観察	2
		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。簡易ゲームを通してゲーム時の戦術及び動きを学ぶ。	観察	2
11月		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。簡易ゲームを通してゲーム時の戦術及び動きを学ぶ。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。相手や状況に応じた技能を高めながらシングルスを行う。	観察	2
		相手や状況に応じた技能を高めながらダブルスを行う。	観察	2
		相手や状況に応じた技能を高めながらダブルスを行う。	観察	2
12月		相手や状況に応じた技能を高めながらダブルスを行う。	観察	2
		相手や状況に応じた技能を高めながらシングルスとダブルスをリーグ戦を行う。	観察・レポート	2
1月	サッカー	サッカーの特性・ルールを理解する。また、自己や他者の安全や事故防止について学ぶ態度を身に着ける。	観察	2
		パス、ドリブルなど安定してボール操作ができるようにする。動きながら2人1組のパス交換で味方が取りやすい場所にパスができるようにする。	観察	2
		ボールを持ったときの動きとボールを持たない動きを理解する。オフザボールを使ってスペースを作る技術を身に着ける。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。戦略を考えながら仲間と連携を図る。	観察・レポート	2
2月	体づくり運動 (縄跳び、シャトルラン等)	運動を継続する意義、体の構造について理解する。	観察	1
		運動不足の解消や体調維持のために食事や睡眠などの生活習慣の改善も含めバランスのよい組み合わせで運動の計画を立てられるようにする。	観察	2
		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	2
		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	1
3月		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	2
		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・レポート	2

指導内容	科目三修体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数